

## ■水電池を利用した「簡易アラート」の試験運用

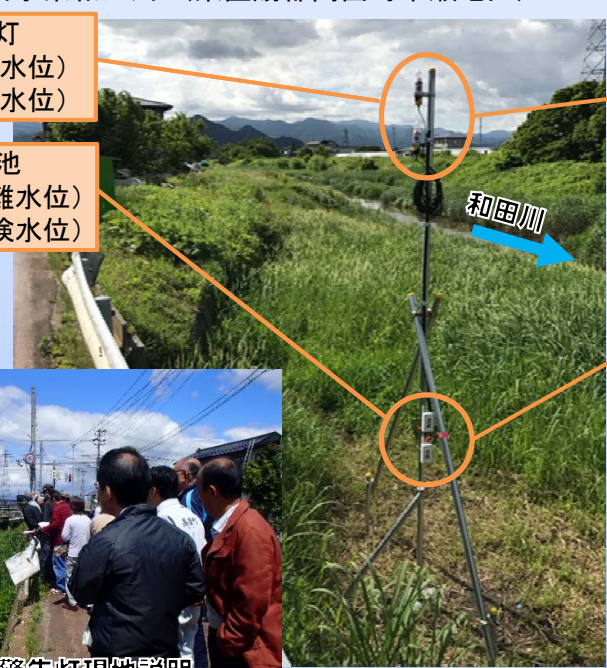
- ・羽越水害や近年の洪水で被害を被った支川和田川で、沿川住民の主体的な避難を促すことを目的に設置した。
- ・警告灯に取り付けた「水電池」が水位上昇にともない浸水することで発電し、警告灯が点灯。
- ・「水電池」+「警告灯」だけの簡易かつ安価な構造。
- ・地域住民の手による「防災福祉マップ」の作成にあわせ、高畠町・山形県・国の3者の協働で試験運用するもの。
- ・今後、沿川自治体が主体となって設置し、避難情報を補うものとして活用されることに期待。

### 試験運用状況


最上川水系和田川（東置賜郡高畠町中瀬地区）

警告灯  
(赤:避難水位)  
(黄:危険水位)

水電池  
(上段:避難水位)  
(下段:危険水位)




和田川



水位警告灯現地説明

### 原理と構造

◆設置箇所は量水標、構造物等、周囲に閃光状態が分かる場所とする。  
(単管パイプ程度の柱で十分。)



防滴BOX内に水電池を収納

退避 危険

②避難水位到達 → 電池に水が入り発電

①危険水位到達 → 電池に水が入り発電

②赤色閃光灯が発光


①黄色閃光灯が発光

町道


※当該箇所は最上川本川の背水区間である。

### 地元住民への説明

(高畠町中瀬地区防災講座)



“水害から身を守る”講座



住民の手による“防災福祉マップ”の作成